



グローバルゼーションの二つの潮流

令和7年11月1日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

グローバルスタンダードは、西洋の合理主義と先端システムにおける高い生産性と製品基準における企業の現実である。

これらは西洋から与えられる現実である事は理解できるものであり、彼らの資本力がそれを支えるものである。

これは、西洋の現実が2つの潮流、善と悪の二元論を有する事は留意したい。グローバリズムにおいてそれは同じく存在するものである。

これにおいて企業の正しい選択は善ということになるのである。そしてグローバリズムへの参加を得る事は未来への参加に等しいのである。

今日グローバル両スタンダードが与えるのは、可能性と未来である。そのため企業においては、選択は存在しないのである。

これらは時代と世界基準における企業経営は世界のすべての地域における標準的な基準である事は理解されるものである。

それがグローバリズムなのである。そしてそれが未来という新たな現実なのである。

これらは企業の挑戦の集約は未来という現実においてその新たな世界への参加を与えるものである。

これらは企業が自己の完全な構築を求めるとき、それら基準において自己を有する事は未来という基準と要求をクリアした企業の確立を行う事なのである。

これらははるかに優れる企業環境であり、企業の現実の飛躍的な向上なのである。

これらは旧現実における基準から未来という可能性への参加を得るためには、これらの壁を越えなくてはならないのである。